

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんざいだんほうじんにほんきょうげきしんこうきょうかい 一般財団法人 日本京劇振興協会	団体ウェブサイトURL	https://www.shincyo.com
代表者職・氏名	代表理事 潮新		
制作団体所在地	〒156-0055 東京都世田谷区船橋6丁目7-1 エスカイア千歳船橋103号	最寄り駅(バス停)	小田急線 千歳船橋駅
電話番号	03-6411-4168		
ふりがな 公演団体名	しんちょうげきいん 新潮劇院	団体ウェブサイトURL	https://www.shincyo.com
代表者職・氏名	主宰 張春祥(本名:潮新)		
公演団体所在地	〒156-0055 東京都世田谷区船橋6丁目7-1 エスカイア千歳船橋103号	最寄り駅(バス停)	小田急線 千歳船橋駅
制作団体 設立年月	2016年1月(任意団体としては1996年 1月)		
制作団体組織	役職員 代表理事 潮新 常務理事 梅木俊治/理事 加藤徹 評議員:佐藤信、劉穎、平林宣和 監査:山下輝彦	団体構成員及び加入条件等 役員3名(うち非常勤1名) 評議員3名 監査1名 非常勤職員3名	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	梅木俊治 根目澤容子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	梅木俊治

制作団体沿革	祖父の代から三代に渡って受け継ぐ京劇一家に生まれた張春祥が日本での京劇普及と日中文化交流を目的に設立。在日京劇俳優と日本人俳優とで構成され、日本人にもわかりやすく京劇を伝えるとともに、コラボレーションや新編京劇創作などの先駆的試みも行う。日本人俳優の育成にも務めている唯一の在日京劇団。 1996年 在日京劇団「新潮劇院」として設立 1999年 日本人舞台俳優とのコラボレーション、日本人向け演出、日本語セリフ導入を開始 2000年 初となる創作京劇「中国の不思議な役人」上演 2002年 一般向けの京劇教室開講 2009年 元中国戯曲学院講師・張桂琴を招いての京劇俳優研修制度開始 2014年 中国最高峰の児童伝統芸能コンテスト「小梅花」金賞を受賞 2016年 「一般財団法人 日本京劇振興協会」として法人化 2018年 子供京劇団「世田谷こども京劇団」設立 2020年 能楽・京劇コラボレーション作品「霸王別姫～能楽と京劇 日中ユネスコ無形文化遺産の融合～」を令和2年度(第75回)文化庁芸術祭参加公演として上演		
学校等における公演実績	2009年 日暮里サニーホール 楽しい京劇の時間(小学生向け京劇ワークショップあり) 2011年 群馬県高崎小学校での京劇公演 2014年 成城ホール・清瀬けやきホール・柏アミューゼ「子どものための京劇体験教室」 2015年8月 久留米シティプラザプレ事業「夏休みだ！ 京劇 やってみる観る?!」 2016～2018年 ヨコハマアートサイト2016「こども京劇プロジェクト」 横浜市内保育園・小中学校京劇公演と共演型公演実施 2016年 成城ホール「こども京劇」 2017年8月 福岡・大阪・東京にて日中子供伝統芸能交流公演 2018年度～横浜山手中華学校で発足した「京劇部」の指導担当 2019年12月～2020年1月 子どもゆめ基金助成事業「こども京劇プロジェクト in 兵庫」など 2020年11月～2021年2月 令和3年度大阪市演劇鑑賞会関連事業 京劇ワークショップ (小学生をメインターゲットにしたワークショップ事業) 2021年2月 令和3年度大阪市演劇鑑賞会「はじめての京劇～孫悟空vs 白骨精」 (小学生をメインターゲットにした共演型公演事業)		
特別支援学校等における公演実績	2017年より福祉分野でも文化貢献すべく活動を進めており、現在では「公益財団法人 お金をまわそう基金」の協力・助成を受けながら事業を実施しております。コロナ禍で開催が難しい状況が続いておりますが、今後も開催地域や場所については拡張していく予定です。 2017年12月 「ヨコハマアートサイト2017」にて横浜市立ろう特別支援学校での京劇上演 2018年7月 千歳台福祉園にて京劇上演 2019年1月 社会福祉法人 同愛会 リエゾン笠間にて京劇上演 2019年9月 千歳台福祉園にて京劇上演 2019年9月 社会福祉法人 同愛会 リエゾン笠間にて京劇上演 2021年3月 千歳台福祉園にて京劇上演 2022年3月 千歳台福祉園にて京劇上演(オンライン)		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/hBfcOUKLDDw	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

A区分・B区分・C区分共通

No.2(実演芸術)

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 新潮劇院 】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	新潮劇院 京劇公演「はじめての京劇」				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【プログラム構成】 1. 京劇レクチャー 2. 楊貴妃の唱～貴妃醉酒より 3. 京劇のセリフに挑戦 4. 走辺(ゾウビエン)～三岔口(サンチャコウ)より 5. 京劇の動きに挑戦 6. 剣舞～霸王別姫より 7. 二將軍～三国志より 8. カーテンコール (いずれも古典演目／脚本・演出 張春祥)				
		公演時間		80	分
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名		許諾確認状況	
演目概要	※別添あり				
演目選択理由	少人数で上演できる演目で構成されています。いずれもセリフ回しよりも表情やしぐさによる表現が多く、中国語であることを意識せずに鑑賞することができ、中学生から小学校低学年まで幅広い年代が同時に楽しむことができる演目を選びました。前半に京劇の様式的な部分を体験できる演目を鑑賞し、後半により長編となる本格的な演目を鑑賞することで、はじめて京劇を鑑賞する子供たちにもわかりやすい構成です。特に最後に上演される「二將軍」はゲームや漫画の題材になっている三国志の演目で知っている子供も多く、立ち回りも派手なのでスムーズに京劇の世界に入り込むことができます。上演を鑑賞した後に、他の中国文学や諸外国について興味を高めるのも海外伝統芸ならではの特色といえます。				
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	※別添あり				
出演者	張春祥(ちょう しゅんしょう) 新潮劇院主宰。一般財団法人日本京劇振興協会代表理事。祖父の代から三代京劇を家業とする京劇一家に生まれ、自身も北京京劇院に所属し、国内や海外公演で主演を務めた。1989年に来日後は俳優・演出家・振付師として活動。中島みゆき「夜会」、蜷川演出・東山主演「さらばわが愛・霸王別姫」、NHKスペシャルドラマ「ストレンジャー」など数多くのビッグプロジェクトで主要な役割を務める。 張桂琴(ちょうけいきん) 中国戯曲学院大学演劇学科卒、同大学院修了。山西省京劇団で活躍する一方、14年間にわたり母校演劇科教員を務め、現在は新潮劇院でも後進の指導にあたる。専門の役柄は文武を兼ね備えた難役である「刀馬旦(ドウマダン)」。 他出演：侯偉(上海京劇院出身)				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者： 3 名 スタッフ： 1 名 合 計： 4 名		運搬	積載量： 1.25 t 車 長： 4.69 m 台 数： 1 台	

A区分・B区分・C区分共通

No.3(実演芸術)

【公演団体名

新潮劇院

】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	本公演共演者 2～20名＋ワークショップ100 名程度
ワークショップ 実施形態及び内容	※別添あり		
ワークショップの ねらい	※別添あり		
その他ワークショップに 関する特記事項等	●特別支援学校での実施 派手な衣装・メイク、おおげさな様式による感情表現など「ノンバーバルな演劇」としても成立していますので、特別支援学校においても特に改変なく上演は可能です。児童との共演に関しては障害の重さ・内容によってどのような対応ができるかは変わって来ますので、事前に学校担当者の方と綿密に連絡を取り内容を都度調整させていただいて、スムーズに実践ができるように尽力致します。		

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

新潮劇院

】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	i) 離島・へき地等における公演実績 過去の学校巡回事業において離島・へき地での実績があります。 ・東京都利島村立利島小学校 ・長崎県五島市立奥浦小学校 ・長崎県壱岐市立渡良小学校 ・佐賀県多久市立東原舎東部校 ・佐賀県唐津市立海青中学校 ・高知県梶原学園 ・福島県北塩原村立裏磐梯小学校 ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であつても公演及びワークショップの質を保つための工夫 ・京劇演目は主演1名ないし2名で上演される演目も数多くあり、少人数でも見ごたえる内容を実演可能です。さらに兵隊といった脇役を子供たちに演じてもらうことでより豪華な舞台として鑑賞することができます。 ・京劇は舞台装置がとても簡素で、設営・準備にあまり時間がかかりません。また、会場を選ばず、仮に会場が特殊な照明機材などがなく手狭な視聴覚室のような場所であつたとしても対応が可能で、C区分条件にとっても適しています。 ・当団体では少人数の派遣で演者が設営・裏方作業も兼任するスタイルの実績が数多くあります。特に音響、照明、字幕の操作については1台のPCシステムで半自動一元管理されており、特別な舞台スタッフを必要とせず実施が可能となっています。 ・ワークショップと同日に本公演も実施できる形式をとることで、ワークショップ担当人員を確保し、通常公演と質の変わらないワークショップを実施します。 iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫 ・もともと京劇は大道具類が少ない伝統芸能ですが、その中でもなるべく道具類がコンパクトになる演目で構成しています。また、機材も折り畳み式の幕などを使用しております。さらに演目も同じ俳優が早変わりして別演目に出演するようにして、出演者・音響・照明機材を含めハイエース1台に収めて移動することで、舞台セットの質を担保しながら、運搬費用を圧縮する工夫をしています。 ・同じ俳優が早変わりして別演目に出演するようにして出演費を削減しています。 ・出演者が搬入出、仕込、司会レクチャー、音響操作、照明操作などを兼任することでスタッフ費を削減しています。 ・ワークショップと同日に本公演も実施できるよう構成を演出し、旅費、宿泊費を軽減します。
----------------------------	---

リンク先	No.2	【公演団体名	新潮劇院	】
演目概要	1. 京劇レクチャー 日本人俳優による楽しいレクチャーがあり、京劇舞台の鑑賞方法に関する予備知識を得ながら、和やかな雰囲気の中で鑑賞に臨むことができます。演劇鑑賞は「静かに見る」というのが一般的な印象ですが、京劇は元々茶館で気軽に観劇していた芸能で、観客も一緒に歓声を上げて応援することができます。拍手や「好(ハオ)！」の掛け声の練習は毎回大変に盛り上がります。			
	2. 楊貴妃の唱～貴妃醉酒より 京劇の名演目「貴妃醉酒」より傾国の美女・楊貴妃が登場する場面の唱を上演します。京劇は「ペキンオペラ」とも言われるように歌唱を一番大切にしている伝統芸能。その真髄を披露します。			
	3. 京劇のセリフに挑戦 楊貴妃が登場するときのセリフを全員で挑戦します。京劇らしい丸みのある発音は新鮮で面白い体験となります。			
	4. 走辺(ゾウビエン)～三岔口(サンチャコウ)より 武人が夜道を急ぐ様子を表現する登場様式を紹介します。無言の舞踏であっても、その緊迫した様子などが伝わります。			
	5. 京劇の動きに挑戦 京劇の見得を全員で挑戦します。打楽器の音に合わせた動きで楽しく京劇らしさを体験できます。			
	6. 剣舞～霸王別姫より 京劇の名優・梅蘭芳(メイランファン)のために作られ、海外では日本で初めて上演された京劇の代名詞とも言える名演目の一番の見所を紹介します。四面楚歌の故事でも有名な場面で、劉邦に追い詰められた項羽を慰めるために虞姫が剣の舞を踊ります。			
	7. 二将軍～三国志より 日本でも有名な三国志演劇の一節。猛将・馬超と暴れん坊の将軍・張飛が一騎打ちをします。それぞれが率いる兵隊役は子供たちに担当してもらいます。鎧による派手な立ち回りは必見。			
	8. カーテンコール 最後にカーテンコールで出演者・共演者を紹介します。			
	[その他特徴] ○舞台両側には日本語字幕がつきますが、各演目の上演前には演目構成について解説をしますし、俳優のオーバーな表情・しぐさだけでも十分内容は伝わるので、字幕を追うことに捕らわれず鑑賞できます。 ○舞台上では事前に指導を受けた子供たちが本物の京劇メイクと衣装とで舞台に登場し、単なるゲストではなく、ストーリーの進行上必要なキャラクターとしてお芝居を演じます。			

リンク先	No.2	【公演団体名	新潮劇院	】
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態				
				
	①事前のワークショップに参加した児童・生徒代表が、本物のメイク・衣装で本編に登場。ストーリーの進行上必要なキャラクタとしてプロの京劇俳優と共演します。チームごとに立ち回り、マスゲームなどを繰り広げます。終演後には集合写真を撮影します。			
	③京劇セリフや動きに全員で挑戦してみます。 俳優とのコミュニケーションを楽しみつつ、子どもたちに参加している一体感、没入感を深めます。			
	④京劇は観客が舞台に声援を送る習慣があり、公演前のレクチャーで拍手や「好（ハオ）！」の掛け声を事前に練習して、観客側にいるこどもたちも役者と一体になって演劇のライブ感を共有します。			
	⑤希望があれば上演前のバックヤード（舞台裏）見学に対応します。豪華な刺繍のある京劇衣装を間近で確認したり小道具の意味についてレクチャーを受けたりできます。また、京劇メイクの様子を見学し、何名かの子供たちには簡単な京劇メイクを施すこともできます。			
				
				
				
⑥希望があれば、終演後に俳優への質疑応答、児童代表挨拶、クラスごとの集合写真の撮影なども対応します。				

リンク先	No.3	【公演団体名	新潮劇院	】
ワークショップ 実施形態及び内容	【京劇レクチャー】 「伝統芸能とは何か？」から始まり、中国伝統芸能「京劇」についての歴史・様式、そして今回上演する演目の概要について説明していきます。 【共演者への指導】 事前に公演で出演していただける児童・生徒の参加希望者を募っていただき、プロの俳優が共演に向けての指導をします。役柄は三国志の兵士です。 【京劇所作や立ち回りの体験】 共演しない児童・生徒は「圓(ユエン:まる)」を基本とする京劇の優雅な所作や指使いについて体験します。会場スペースがあれば新聞紙を丸めた武器の代用品を準備してもらい、立ち回りの基礎も指導します。時間があれば簡単な発表の場も設けます。 【リハーサルの観覧】 指導を受けた共演者たちがリハーサルを受ける様子を観覧します。 【その他】 学校の希望がありましたら交流給食、俳優への質疑応答などに対応します。			

リンク先	No.3	【公演団体名	新潮劇院	】
ワークショップの ねらい	【京劇レクチャー】 「伝統芸能」というものに全く触れたことがなかったり、中国のことをあまり知らなかったりして身近に感じられない子供は多いと思います。導入として「日本の伝統芸能」や「地域の行事・お祭り」などに触れていきながら「伝統芸能」といっても元々は庶民の娯楽として発展した身近なものであり、外国の伝統芸能でもそれは変わらないということを伝え「京劇」との距離感を近づけます。更に京劇独特の強烈なメイクや、実際の京劇映像などを紹介することで子供たちの興味関心を高め、上演する演目の紹介と絡めながら京劇の特徴・魅力について伝えていきます。 【共演者への指導】 「京劇」の技術は本場中国でも専門の学校でしか習得できず、一般には体験のできないものです。それが日本でプロの指導を受けることができ、さらに本物のメイク・衣装で舞台共演することは子供たちにとってもインパクトを与える貴重な体験となり、将来の芸術家の育成にも繋がります。特に普段は引込み思案な子が自己表現をする機会にはうってつけで、京劇の派手な衣装・メイクを装うことによって自信をもって舞台上で登場でき、自分の持ち技やセリフなどを友人たちの前で堂々と表現する体験をすることができます。芸術の楽しさを知るとともに、出演した子供たちの自己評価を高め、コミュニケーション能力や積極性を著しく成長させると毎回好評をいただいております。 また、各チームごとに順番での演技指導となり、指導がない合間にはチームごとに「どうしたらうまくいくかな?」「この段取りはどうだっけ?」と、この新しい共通課題について自然とコミュニケーションを取りながら自主練習をしていくことになり、子供の自主性を引き伸ばしていきます。 【京劇所作や立ち回りの体験】 京劇は舞台装置がなく、俳優の演技・所作だけで状況・場面を説明する伝統芸です。映像や舞台でもビジュアル的な説明要素が多くなっている現代の人間には一見わかりにくいですが、京劇の所作のいくつかでも「実はこういう意味がある」という話を聞きくことで子供たちの発想力を刺激し、他の色々な所作についても、より想像を膨らませて楽しく鑑賞できるようになります。この体験は能楽といった同じ特長を持つ伝統芸能の鑑賞にも通じ、総じて芸術鑑賞能力の向上につながられます。 京劇の動きの美しさは「圓(ユアン:まる)」という様子を由来としていますが、曖昧に見ているだけでは気づきにくいものです。その動きを実際に体験しておくことは本公演で繰り広げられる様式美への深い理解に繋がっていきます。また、日常では体験できないような身体の使い方や極端に誇張された表現方法に新鮮さと面白味を感じる子もいることでしょう。 昔は新聞紙を使った「正義の味方ごっこ」といった遊びもよく行われていましたが、今の子供たちにはそのような経験も少ないと思います。子供が大好きな「戦いごっこ」をプロが指導しながら行うことで安全かつ楽しく体験でき、また本編中での激しく難易度の高い立ち回りができる仕組みも、このような基礎とお互いの了解があつてのことと理解できます。 こういった様式技術は毎日の基礎練習を繰り返すことで習得されるもので、1日のワークショップではその触りを知ることができるのですが、実際には中国の戯曲学校で、自身と同年代の子供たちが連日訓練を行っています。彼らが俳優として舞台上に立つまでに日々どのような訓練をしているのか、芸術を極めることの困難さも知ることができます。 【リハーサルの観覧】 最後に共演者たちがリハーサルを実施し、その様子を観覧することで、実際にメイク・衣装を纏った本編への期待感を高めるとともに、舞台が出来上がっていくまでの過程を知り、さらに本編では演劇における舞台装置・小道具の効果を体験できるようになっています。 【その他】 限られた時間の中で、少しでも俳優たちと子供たちとのコミュニケーションが多く取れるよう対応します。外国人・俳優というジャンルは身近にいない子供が多いので、興味・関心は大いにあると思います。			